

「さあ おつとめ」

プログラムのねらい

- おつとめをつとめるときの大切な要素（心）を理解する
- おつとめをつとめる大切さ、人のために祈る大切さを理解する
- 日常生活でおつとめをつとめるよう呼びかける

プログラムの構成

			時間配分
《導入（起）》	《演習》	おつとめ何でも質問	5分
《気づき（承）》	《演習》	合わせてみましょう！	15分
	《おしゃべりタイム》	演習のふりかえり	15分
	《本読み》	「さあ おつとめ」	5分
	《おはなし》	おつとめの心	20分
《学習（転）》	《おしゃべりタイム》	おつとめ 何を祈っていますか？	15分
	《本読み》	「さあ おつとめ」	5分
	《おはなし》	つとめでたすける、つとめでたすかる	20分
	《おしゃべりタイム》	おつとめQ&A	20分
《結び（結）》	《おはなし》	まとめ	20分
	《おしゃべりタイム》	講座のふりかえり	40分
			(3時間)

※開会、閉会、つなぎの司会時間を含まないプログラム正味の時間

各項目の時間は目安です。当日の流れ、実情に応じて調整してください

準備物品

- テキスト「さあ おつとめ」（布教二課にて受渡し）
- 記入用紙「おつとめなんでも質問」（巻末に添付。コピーして使用）
- ふりかえり用紙（ ” ）

プログラム進行台本

単位	プログラム（内容と進め方）	司会のコメント（例）	ねらい（ポイント）
司会	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者が受付を済ませて入場 ・着席案内（班分けの通りに） ・配布物案内 		トイレなどは張り紙案内、お茶セット等あるとよい。
司会	<ul style="list-style-type: none"> ・講師、各班ねりあい司会者、サポートスタッフ紹介 ・開始時刻終了時刻の予告 ・テキストは、案内があるまで開かない、読まないように促す。 <p>※参加者とスタッフで作りあげるので、ご協力をお願いします。</p>		
	<p>開会</p> <p>親神様、教祖、祖霊様遥拝</p> <p>オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日のテーマ、テキスト紹介 ・ねらい ・プログラムの概要（省略してもよい） 		
		<p>今日はおつとめについて勉強します。</p> <p>始める前に、準備をかねて、おつとめについてみなさんの素朴な質問を聞いてみましょう。</p>	

<p>班別</p>	<p>〈演習〉 おつとめ何でも質問 ① 質問用紙（別紙）を配ります ② 一人ずつ記入してもらいます ③ 記入ができたなら提出してもらいます</p>	<p>これから質問用紙を配ります。おつとめについて日ごろ疑問に思っていること、素朴な質問、何でもいいですから書いてみてください。グループで相談しても一人で考えてもいいですよ。気楽に自由に書いてください。</p>	<p>👉おつとめについて考える意識をもつ</p> <p>質問用紙（別紙）</p>
		<p>ご協力ありがとうございました。それでは用紙を集めます。</p> <p>みなさんの質問を講師の先生にお渡ししておきます。これは後で使います。</p> <p>さて、いよいよおつとめについて勉強していきませんが、最初に身体をほぐしてみましよう。</p>	
<p>全体 班別 全体</p>	<p>〈演習〉 合わせてみましょう！ ① 講師に合わせて手拍子（楽器）でリズムをとります ② 簡単なリズム（たとえば、“タン、タン、タ、タ、タン”）を課題に与えて、グループで練習します ③ グループごとに披露します</p>	<p>まず、少し身体を動かして簡単なゲームをしてみましょう。</p> <p>今から手（楽器）を鳴らしてみますから、そのリズムに合わせていっしょにたたいてみてください。いっしょに合わせてですよ。</p> <p>気持ちをそろえてどうぞ！</p> <p>今度は、課題を与えます。グループで協力して合わせてみてください。少し</p>	<p>👉ゲームによって合わせることを体感し、意識する</p>

		<p>の時間練習してください。 どこのグループがうまくできるか発表してもらいましょう。</p>	
		<p>いかがでしたか？ うまくなりましたか？ みんなで気持ちを合わせてそろえるのは、なかなか大変そうですね。この「合わせる」ことについて少し考えてみたいと思います。</p>	
班別	<p>〈おしゃべりタイム〉 演習をふりかえります</p> <p>① みんなで合わせるために自分はどうな心配りをしましたか ② みんなで合わせるためには何が大切ですか</p>		<p>👉おつとめに大切な「合わせる心」について考える</p>
全体	<p>「さあ おつとめ」本読み <u>P2～6（上段）</u> <u>おつとめをつとめるときの大事な心構えとは、何でしょうか？</u></p> <p>講師に合わせて、全体で声を出して読みます</p>	<p>みなさんに「合わせる」ことについて感じ取っていただきました。</p> <p>実は、おつとめはみんなが心を合わせないとつとめられません。おつとめに大切なものは何なのか。少し勉強してみましよう。</p>	<p>👉おつとめに大切な要素について学ぶ</p>
		<p>おつとめをつとめる心構えを見ってみました。ここで講師の先生のお話を聞いて、もう少し勉強してみましよう。</p>	
全体	<p>〈おはなし〉 おつとめの心</p> <p>① おつとめについて簡単な説明 ② おつとめの大切さ</p>	<p>○おつとめをわかりやすく説明 ・教祖がひながたを通して直々に教えてくださった大切なもの</p>	<p>👉おつとめについて理解を深める</p>

		<p>・よろづたすけのつとめ (祈り) である ○合わせる心 (一手一つ) の大切さ ※歴史的な話に終始せず、 教祖のおつとめに対する お心や、おつとめは陽気ぐ らしを願う祈りであり、そ れを心をそろえて一手一 つにつとめることが大切 であることを中心に</p>	
班別	<p>〈おしゃべりタイム〉 おつとめ何を祈っていますか？ ① ふだんおつとめするとき、何を祈っ ているのか話します ② 祈るときに具体的に何か心がけ ていることがあれば合わせて話 します (心定め、心がまえ、行動 など)</p>	<p>たすけづとめとも教え ていただいているおつと め。みなさんはどんなこと をお願いしていますか。</p> <p>ふだん何ををお願いして いるのか、お互いに出し合 ってみてください。なるほ どと思うことがあれば、ど んどん質問して参考にし てみましょう。</p>	<p>☞お互いの祈りの 姿を知ること で、ヒントや参考にし るとともに、おつ とめをつとめ、人 のたすかりを願う 意識を高める</p>
全体	<p>「さあ おつとめ」本読み P6 (下段) ~14 体験</p> <p>講師に合わせて、全体で声を出して 読みます</p>	<p>みなさん、おつとめでい ろいろお願いされている んでしょうね。他の人がど んなことをお願いしてい るのか、ふだん聞けないこ とを聞いて参考にもなっ たのではないでしょう か。</p> <p>おつとめでたすかった 体験談を紹介してみま しょう。</p>	<p>☞おつとめの大切 さを強調し、おつ とめに対する積極 性を高める</p>
		<p>おつとめをつとめ、心が しっかりと定まったなら、 あるいは神の心になっ たならば、親神様が大きく</p>	

		<p>お働きくださるのではないのでしょうか。</p> <p>講師の先生からもお話を聞いてみましょう。</p>	
全体	<p>〈おはなし〉 つとめでたすける、つとめでたすかる</p> <p>① おつとめであらわれた不思議なご守護</p> <p>② つとめはたすける理、たすかる理</p>	<p>○自身の体験談を精一杯話す</p> <p>○人のために祈りおつとめをつとめる大切さ、つとめによって人もたすかり自分もたすかる</p>	
全体 班別	<p>〈おしゃべりタイム〉 おつとめ Q&A</p> <p>① 最初に記入した質問用紙を使います</p> <p>② 講師が質問用紙の中から質問を選び、発表します</p> <p>③ グループで回答を考えます</p> <p>④ グループごとに発表します</p> <p>⑤ 講師が回答（見解）を伝えます</p>	<p>大切なおつとめ。みなさんできるだけつとめたいものですね。でも、こんなことがよくわからない、これは難しいということがあれば、ちょっと心配ですよ。</p> <p>そこで、はじめに出してもらった質問に答えて不安を解消していきましょう。</p> <p>みなさんもいっしょに考えてみましょう。</p> <p>気軽に考えてみましょう。</p>	<p>☞おつとめに関する疑問や不安を解消し、気軽におつとめをつとめてもらえるようにする</p>
		<p>いろいろな質問がでましたね。みなさんの意見も聞いて「なるほど」と思ったことがあったり、今までわからなかったことがはっきりとしたりして、参考になったのではと思います。</p> <p>では、最後に講師の先生からおつとめについてまとめのお話をさせていただきます。</p>	

全体	<p>〈まとめのおはなし〉</p>	<p>○おつとめを毎日つとめる</p> <p>○人のために祈る毎日（つとめによる人だけ）</p> <p>○おつとめをつとめることで合わせる心を養おう（日々神様に心を合わせる、夫婦・家族・同僚・仲間と心を合わせる）</p> <p><u>※説教にならないように、呼びかけるような思いで</u></p>	<p>☞日々おつとめをつとめるよう呼びかける</p>
班別	<p>〈おしゃべりタイム〉</p> <p>講座のふりかえり</p> <p>① 記入用紙（別紙）を配ります</p> <p>② 一人ずつ記入してもらいます</p> <p>③ 記入ができたならグループ内で一人ずつ順番に発表してもらいます</p> <p>④ 自由に話してもらいます</p>	<p>今日の講座をふりかえって、今の気持ちを率直に書いてみてください。</p> <p>みんなが書き終えたらグループで発表してください。</p> <p>項目ごとに一回り順番に発表してください。</p> <p>全部済んだら今日の感想や気持ちを自由に話してください。</p>	<p>ふりかえり用紙（別紙）</p>
司会	<p>閉会</p> <p>親神様、教祖、祖霊様遙拝</p>	<p>○本日はご参加いただきましてありがとうございました。</p> <p>（次回の参加案内があれば渡す）</p> <p>○これで終わらせていただきます。</p>	

《おつとめ なんでも質問》

なぜ、♪たすけたまへ てんいわうのみこと は21回なの？

回数をまちがえた！どうしよう？ 回数の上手な教え方知いませんか？

お願いごとを言上する順番は？ 神様にどういうふうに言ってお願いするの？

など、など…

あなたがふだんおつとめについてもっている素朴な疑問、質問なんでもOK！

あなたの“？”を聞かせてください。

